



協和発酵キリン労働組合連合会 副事務局長  
内藤 夢子

私は昨年10月に、医薬品の営業担当者（MR＝medical representative）から専従となりました。それまでは非専従の支部執行委員として組合活動と会社業務を行っていた

ましたが、組合活動については自労組の活動を中心に行っていたため、上部団体や産別の知識、労働組合の歴史は殆ど知りませんでした。

昨年度の10月から12月まで、全労生ユニオ

## 2015「全労生ユニオンカレッジ」を受講して

を再確認  
できるこ  
とが魅力

もあり、支部役員との役割の違いに戸惑いを感じており、自身が何をすれば良いか、どのような志を持って組合活動に臨めば良いか悩んでいました。

そんな中、全労生ユニオンカレッジに参加

ンカレッジの全11講義が開催され、労働組合の歴史から始まり、労働組合の意義や賃金制度、労使協議の取り組みなど幅広い内容を学びました。

して、組合専従として知っておかなければならない知識を学び、組合活動を経験された先輩方のお話を伺うことができたため、不安や戸惑いが少しずつ解消されていきました。

ました。

だと思っています。

また、3カ月間の中で一緒に講義を聴講した他の労組の方々ともお話させて頂く機会が多く、私と同じように10月から専従になった方とお互いの境遇や取り組みを共有すること

ができたため、不安や戸惑いが少しずつ解消されていきました。

また、実際に講義で学んだ基礎知識や考え方が専従業務を行う上で非常に役立っています。是非、今後労働組合の活動に携わる方は積極的にご参加頂けると

良いと感じます。

当時の私は専従になっただけという

全11講義の中で特に

ができたため、安心感があり心強く感じました。

私に講義を受けてから7カ月が経ちますが、振り返るとユニオンカレッジは知識の習得だけではなく、横の繋がりがや労働組合の志